

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第3回情報のかけ橋委員会
2. 開催日時	平成30年9月12日(水) 午後1時30分～3時30分
3. 開催場所	理事者控室
4. 出席者氏名	(委員) [敬称略] <small>副市長</small> 永作友寛 山守一徳 中北直子 川口正人 浅井榮二 (事務局) <small>危機管理特命理事</small> <small>課長</small> <small>広報広聴担当監</small> 鈴木政博 浅井嘉人 岡田久 勝田茂樹 松林良太郎 小林祐規 中頭沙季
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	松阪市 秘書広報課 広報広聴係 勝田 電話 0598-53-4312 FAX 0598-22-1119 メール kouhou@city.matsusaka.mie.jp

第3回情報のかけ橋委員会 議事録

【委員会 式次第】

1. あいさつ
2. SNS運用状況について
3. 行政チャンネルの運用状況について
4. 広報まつさかのデザインの今後について
5. 次回会議日程について

1. あいさつ

委員長 いつもお忙しい中でお集まりをいただきありがとうございます。先日の台風で停電になった件数などを中部電力さんからの報告を受けました。停電になると中部電力さんへの問い合わせが増え、電話がつながらなくなる。そして、そうなると松阪市役所の災害対策本部への電話が多くなっていくという状況があり、対応状況に関する情報共有をしました。また最近では北海道での地震もありましたが、停電は生活に与える影響が大きく、特に情報を得る手段がなくなってしまうことがあります。そういう時にこそ、FACEBOOK などの SNS が情報手段として役立つという話を聞きました。一方でデマが流出しがちになり、行政情報を提供することの大切さが課題ともなっています。災害の時にどのように行政チャンネル、SNS での情報発信をできるかが鍵になるように感じています。本日も様々なご意見をいただければと思いますので、よろしくをお願いします。

2. SNS の運用状況について

事務局 SNS のフォロー状況について報告をさせていただきます。刻一刻と変わっていくものですが、9月12日現在でFACEBOOK「ぎゅうっと松阪」のフォロワー数が1733人で、前回の会議から25人増えました。Twitterは754人で、122人増えました。Instagramは549人で152人が増えたという状況です。このままのペースでいけば、目標でもあります、年度内で1000人を超えられる見込みです。例えば台風接近時にはフォロワー数が増加傾向にあります。また、今年度は松浦武四郎のドラマの制作発表がされると、すぐにフォロワー数が伸びるということがありました。そのような話題性をできるだけ察知して、フォロワー数を増やしていければと考えています。またフォロワー数を増やすための試みとして、松阪在住の双子の人気モデル「りかりこ」さんの話題を書いたり、松阪市出身のロックバンド「オメでたい頭でなにより」を紹介したりもしています。この2グループについてはどちらも、委員さんからご紹介をいただきました、ありがとうございます。

3. 行政チャンネルの運用状況について

事務局 7・8月とできる限り、委員の皆さんからいただいた意見を形にすべく、様々広報をしてきましたので、これらを報告します。まずは市長記者会見の中で、松阪高校の放送部に行政チャンネルのアナウ

ンサーを委嘱することを発表しました。市内の全ての高校にも声をかけましたが、手があがったのが、松阪高校の放送部でした。また、松阪高校放送部は放送コンクールでもアナウンス部門で、県大会優勝、番組制作部門では全国で準優勝するなどの実績もあります。1回目の収録については公開収録という形をとりましたら、伊勢新聞、夕刊三重、朝日新聞、毎日新聞、中日新聞、松阪ケーブルテレビと、多くのメディアで取り上げていただくことができました。夏休み期間中は全て収録を松阪高校放送部で実施して、9月以降には月1～2回程度を実施していきたいと思っています。行政チャンネルについては運用から10年以上経過しているにも関わらず、存在を知られていないということが3000人アンケートの結果から課題として挙がっています。また、今年度のアンケートも行われる直前ということで、これらの取り組みによって認知度が向上してもらえればと思っています。続いて、職員アナウンサーの実施についてです。全部署から職員アナウンサーの成り手を募集し、6人から手が挙がりました。引き続きアナウンサー研修を実施して技術の向上を図っていくとともに、職員内部の行政チャンネル認知度を高めていきたいと思っています。高校生アナウンサー、職員アナウンサーについても委員の意見と技術的の協力でなし得たものです、ありがとうございます。文字放送を市民の掲示板にリニューアルもさせていただきました。前回の委員会でいただいた意見を参考に、作り替えました。また、BGMについても松阪出身のアーティストを流しています。これによって、行政チャンネルに親しみを感じていただければと思います。他にも台風接近時の緊急放送をしました。通常の放送に割り込む形で放送しました。台風20号の際に6回程度、台風21号の際には10回程度放送しました。これについては、もっとこんな情報を入れてほしいという意見があれば、採用したいと思いますので、後程意見をいただければと思います。それではここで、実際に放送した動画をご覧ください。（動画視聴）台風の進路、松阪市の避難情報、準備物の啓発、市長コメントを放送しました。また、行政チャンネルだけでなく、YoutubeやFACEBOOKにも掲載をしました。これに加えた方が良い情報がありましたら、ご意見をいただければと思います。

委員 最近、紀宝町はタイムラインという災害対応準備をしているという話を聞きました。おそらく松阪市でも、時系列で災害対応について検討・実施しているものと思います。そのあたりを伝えてみても良いのではないのでしょうか。また、停電した時の情報、例えば中部電力さんへのリンクを貼りつけてみてはいかがでしょうか。

- 委員 仕事中の停電でしたが、若い子は中部電力のホームページをすぐに見るようにしていました。停電情報はやはり気になります。
- 事務局 ホームページでは中部電力さんへのリンクを分かりやすい位置に貼り付けていました。行政c hの緊急放送ではその内容を入れていなかったのので、次回以降検討します。
- 委員 先ほど視聴した動画は台風接近時に、リアルタイムにSNSで視聴しましたが少し長く感じました。時間は大体5分くらいだったと思いますが、2～3分くらいでも良いのではないのでしょうか。また、配信をされている情報があると、次の配信を期待する部分もあると思うのですが、その予告の必要性も考えた方が良いかもしれません。
- 事務局 今回の台風は昼間に来たので職員も多く、対応もスムーズにできたのですが、人が少ないとそれだけ時間もかかります。何を優先して情報を伝えるかなど、構成も含めて考えていきたいと思います。また、タイムラインの話がありましたが、2・3日前に台風の接近は予想できるので、早め早めに対応できるよう、タイムラインの対応を具体的にしていきたいと思います。
- 委員 市長が番組に出ていると、その緊急感が伝わって良いと思いますが、どれくらいの皆さんが行政c hを見てくれているのかが気になります。特に今回は停電もありました。見るにしても、他の民放などを見ることが多いのではないかなと思います。緊急性が伝わるような取り組みがあると良いのかもしれない。
- 事務局 この情報は松阪市行政c hでしか見られない情報なのか、という独自性があるかが基準だと思います。民放ではどうしても被害が大きいところが情報の中心になってくるので、独自性は見出すことができると思います。ちなみに、行政チャンネルの視聴率は測ることができませんが、youtubeであれば再生回数を見ることができます。1つの必要性を図る基準と思っています。
- 委員長 こういう情報を行政チャンネルで放送するのは必要ではないかと思っています。ただ、それであれば松阪市行政チャンネルでしか見られないような情報であってほしい。これは災害対策本部の出せる情報なのかという精査も必要だとは思いますが、色々やり方はあると思うので、これからの検討の1つだと思います。

委員 市役所のどこかに監視カメラを取り付けて、行政チャンネルで放送することはできないのでしょうか？

委員 松阪市役所にライブカメラは設置されているのですか？

事務局 ありません。映像は全て、窓越しに撮影などしたものです。

委員 ライブカメラは地震の時などに役立つのではないのでしょうか。それだけで視聴率の向上が図れないのでしょうか。

事務局 不可能ではないと思います。11月に放送機器展の視察予定ですので、一度検討したいと思います。以上が報告となります。それでは、ここからは皆さんに災害時の放送以外の意見をいただきたいと思います。例えば、これまでの課題となっているチャンネル名や来年度の番組検討、行政チャンネル周知方法の検討などがそれですが、意見はないのでしょうか？

委員 オリンピックのキャラクターを決めるときのやり方はとても良かったと思います。例えば市内の小学生から募集するのはどうでしょうか。また景品があっても良いと思います。また、病院の待ち時間というのはとても退屈だと思うので、医師会などに声をかけて、行政チャンネルを放送してもらうのを打診してはいかがでしょうか？

事務局 地区医師会と実際に番組を作っているものもありますので、一度打診を検討したいと思います。

委員 ショッピングセンターとかでテレビ設置されているところもあると思います。それを、行政チャンネルにしてもらうというのも良いかもしれません。また、行政チャンネルのPRの日みたいなものを作って少しイベントをしたり、ピラをまいたりするのもいいかもしれません。また、一般の方が最近は動画をよく制作しているので、そのあたりを放送するのもいいかもしれません。

事務局 ショッピングセンター等でのイベントは他部署ではな取り組みをしている部署もありますので、検討してみたいと思います。

委員 行政チャンネルの周知ということで、外へ出るという意味で、松阪のお祭り会場で公開収録をするのは良いかもしれません。生放送で

はないので、それほど予算をかけなくてもいいのではないかと思います。「おでかけ松阪」みたいな収録番組をするのもいいかなと思います。もう1つはリフレッシュママの会のような沢山の方が集まる場で、ビラ配りなどをしてみてはどうかと思います。放送日を紹介したり SNS を周知したりするという事です。

委員 コミュニティチャンネルの番組との混同が今でもあります。しっかりと番組と視聴方法の周知が必要です。HappyBirthday も応募方法を明確に周知できると良いと思います。

事務局 放送日のお知らせについては、名刺サイズのお知らせを作って配布しようかと思っているのですが、取材を外注していることもあって、なかなか周知できていない部分があります。なので、撮影対象者が多いもので、月に1～2度程度は、私たち職員が現場に行って、チラシを配布したいと思います。今いただいた様々な意見は予算立ても含めて検討したいと思います。

事務局 報告を失念していたことがありましたので補足します。行政チャンネルでC I R といって国際交流員のアメリカ人をリポーターにした番組を制作していて、これが地域の話題となって新聞に掲載されたり、松阪高校放送部の制作した番組を放送する際にこれも新聞等に掲載されました。また、直近では全国での活躍が目覚ましい三重中・三重高のダンス部を紹介する番組を放送する予定です。これからも地域の皆さんにとって話題になりそうなものは、時間をかけて紹介していきたいと考えています。

4. 広報まつさかのデザインの今後について

事務局 広報まつさかのデザインについては委員の中には前回のプロポーザルに関していただいている方もいますが、時間も経過していますので、振り返りも含めて、これまでの流れを紹介したいと思います。平成27年度にプロポーザルでデザイン業務委託先を決定しまして、平成28年度から今年度までは皆さんのご意見、広報コンクールの実績や3000人アンケートの結果などから随意契約という形で続いています。まるっと5年となりますのが、平成32年の10月です。今回伺いたいのは、平成31年度について、業者を選定して業者を変更するか、それともこのまま状態をあと1年継続するかについて意見を聞きたいと思っています。まずは事務局サイドの意見のまとめを紹介します。3年半程度継続しているデザインのため、あ

る程度の浸透はあると感じていて、このデザインのままを続けていきたいと考えています。理由として、市民の方からデザインが見つらいという意見をいただくことはありませんし、三重県主催の広報コンクールにおいても入選という結果です。合わせて昨年度の情報のかけ橋委員会の中で、最大5年程度の随意契約という結論に達しています。ただし、このまま随意契約を続けていくことはどこかのタイミングでは難しい時期がやってくるということは認識していますので、この来年度の予算を検討するタイミングで一度委員の皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

委員 ある程度現在のデザインが定着していると思うので、変えなくても良いと思います。以前の話し合いの通り、5年を目安程度でしょうか。デザインは微修正を加えているので読みやすくなっています。

委員 今月だけかもしれませんが、全体的に若い人向けの情報が少ないと思います。子育て一番情報はあるものの、高齢者の暮らしを考えるはあっても、若い人向けの情報が少ないので、若い方に見てもらうための情報は必要かと感じます。ちなみに、松阪市の広報紙はページのボリュームは他市などと比べていかがですか？

事務局 他市と比べて多い方であるという認識です。また、多いという意見をいただくこともあります。

委員 では、ページを増やすということはなかなか難しいかもしれませんが、構成次第で情報を増やすこともできると思うので、検討していただいても良いかもしれません。あと、私にとっては、松阪コミュニティのページデザインが浮いているように感じるので、ここは改善の余地があるのではないのでしょうか。契約については、このデザインが定着しているので、このままで良いと思います。

委員 表紙のデザイン・写真の撮影技術が低いです。見る側に想像力を膨らませる写真でないと魅力がなくなります。業者によるデザインがよくても、写真を撮るのが市職員さんであれば、技術力の向上を図るべきです。また写真の補正の技術力も課題です。これらについてデザイナーからの意見・提言も必要になるのではないかと思います。仕事に対して責任をもって接してもらうべきではないかと思います。このままの仕事が続くのであれば、業務を続けていく業者としてはふさわしくないという判断になってしまいます。

事務局 ご意見ありがとうございます。写真の技術力について担当の2人は、早速研修を受けさせます。再来月となりますが、2日間プロから実践方式で勉強をしてきてもらいます。業者との関係性についても今一度帯を締めたいと思います。

委員 毎月情報量が多い中で、取材する対象も考えて製作してもらっているものと思います。業者との契約が続いてくると、良い方にも悪い方にも慣れ合いの部分は生まれてくるとと思います。そのあたりには気を付けてもらいたいと思います。

事務局 今後の契約等について皆さんから意見をいただきました。来年が4年目です。いただいた意見を参考に、一定のクオリティは保ってはいるものの、業者との関係性をしっかり見直した上で、来年についても随意契約の方向で続けていきたいと思います。

委員長 新聞社さんから昔の松阪の出来事を聞かれることがよくあります。そういう昔の情報を広報紙でしっかり伝えていたことで情報が残っていることがあります。そういう意味でも広報紙の意義があるように感じます。

5. 次回会議日程について

事務局 次回の会議日程についてです。次回は、10月26日（金）13時30分からということで、よろしくお願いします。